

# 和良の郷だより

和良おこし協議会  
焚火号  
和良おこし協議会発行

## 和良の魅力を発信

### 「町家オイデナーレ」に出展

11月21日(土曜日)・22日(日曜日)に、郡上市八幡町にて「町家オイデナーレ2020」が開催されました。和良からも町の中心部に場所をお借りして出展させていただきました。



(和良のモノがギュッと詰まったブース)

毎年開催される「町家オイデナーレ」に今年もお声掛けいただき和良を知っていただく機会を作るために出展させていただきました。今年の和良ブースは大人気の「いそばん」も一緒です。他には、お百姓さんになるんだと和良に移住してきた和田さんの「このみほら

農園」の新米や、奥さんが育てた多肉植物の寄せ植え、ぎんなん、「ナカシクシヨウテン」の「ばんどりこーる」制作体験、「和良蛭を守る会」の蛭石、和良おこし協議会からは、ポストカード、「シヤツ」はさこの本、Wharfedaleの鼻笛Cupの鼻笛体験と販売などを展開しました。

初日のお昼までは街を歩く方もぼちぼちでしたが、さすがの「いそばん」は開店前からお客さんに声を掛けられるほど大人気でした。

鼻笛にも興味を持って足を止めていただく方も多くありました。お店の前で吹いていると、不思議そうにのぞき込んでくれたり、赤ちゃんの注目を浴びたり、わんこが寄ってきたりしました。鼻笛をとっても気に入ったちびっ子が町の中を吹きながら歩いてくれ、しばらくしてから、再び訪れて上達したと報告してくれました。

### オンラインで同窓会やりませんか？

新型コロナウイルスの影響で里帰りをして同窓会を開催することが難しいと感じられている方が多いと思います。「Zoom」を使う「オンライン同窓会」は、

かがでしょうか？和良おこし協議会がホストで開始しますので、無料で、時間制限なしで楽しんでいただけます。簡単な使い方マニュアルも用意できます。ただし、対象は

和良出身の方々限定で、同窓会冒頭に少しお時間をいただいて和良の現状の話をさせていただきます、簡単なアンケートのご協力ください。

詳細は和良おこし・加藤まで。 (0575-77-2277)

### 寄せ鍋 演芸会

11月21日(土曜日)・

来られたお客さんに話しかけてみると、和良を知らずに寄っていた方も多くありましたが、お話をしていると「あっ、行った事があります。」「さっき通ってききました。」と思い出される方もいました。他には「鮎が美味しいとこですよね。」「蛭を見に行こうですね。」などとお話される方もあって、少し嬉しくなりました。

ブースにお越しいただきました皆さん、ありがとうございました。ぜひ和良町の方にもお越しください。

来年のブースはさらにパワーアップしたいと思しますので、また次回よろしくお願い致します。

この日の開演は、まずは富安さんの歌からスタートです。この季節やいまの和良の雰囲気を感じつつ歩いていく様は、まるで落語のようだなと感じます。とても心地よい富安さんの声とギターの音が室内にひびきました。

つづいて、さん生さんのお断へと移って行きます。わらおこしでの落語の会が初めてということもあって、1席目には、



(鼻笛演奏)

(人気のいそばん)

落語界のお話。弟子入りから師匠とお弟子さんの関係や、自身の体験などをお話いただきながら、基本的な落語の「オチ」を面白く解説いただきました。2席目は酒飲みのお話をマクラに古典の「親子酒」の断です。夫婦のやり取りや、お酒を飲む所作、酔っぱらった者のやり取りが面白いお話です。初めて生で落語を見る参加者からは笑いと共に納得の表情がみられました。

最後は富安さんが和良を歌った「新田舎物語」いい塩梅の田舎で暮らそう」をさん生さんの鼻笛と、みんなで歌って、賑やかな夜を締めくくりました。

富安さんのお断へと移って行きます。わらおこしでの落語の会が初めてということもあって、1席目には、



(富安秀行さんと柳家さん生さん)

# ばんどり探検隊 任務完了



11月14日(土曜日)は、ムササビの観察会「ばんどり探検隊」を開催しました。寒い時期の夕刻の開催にもかかわらず、多くの方にご参加いただきました。

集合してからまずムササビの勉強会を行いました。糞や食べ跡を探したり、想像しているムササビの絵を描いてみたりしながらキャプテン・ジヨージからムササビの習性や生態についてレクチャーを受けます。

ムササビについての興味深いレクチャーを聞いた後、いよいよ観察がスタートします。ムササビは夜行性で、食事を求めて活動し始めるのは暗くなってからのひと時です。空がどんどんと暗くなっていくなか、巢のある場所をじっくりと見つけます。

日も暮れてあたりが闇に包まれたところです。誰かがアツと声を上げて木の方を指します。急いで目線をそちらの方へ移すと、ムササビが木から木に飛び移る姿が見えます。引き続き目をこらしていると、その木から30mほどの大滑空を見せてくれました。思わず息をのんで見守ります。あつという間の出来事でカメラを構えていた人も残念ながら空振りです。多くの人が見つけているので、ムササビが警戒して姿を見せられないのではといった不安があったので、キャプテンをはじめスタッフ一同、ムササビが滑空してくれたことに安堵したのでした。

さて、そこから会場を和良おこし協議会の活動拠点「わらおこし」に移動します。会場では焚火でお出迎え。すっかり冷えた身体を焚火が

温めてくれます。用意した「ばんどり汁」(豚汁です)と、武藤バリスタのごだわり「コーヒー」、手作り「ココア」で温まってもらいました。焚火を囲んでのムササビの話が弾んだところで、キャプテンがこの日の為に用意したムササビの歌をギターを弾きながら歌います。歌のリクエストもいただいていたという間に時間が過ぎていきます。最後は、焚火の定番のマシユマロを焼いてもらいます。これは特に子ども達に大好評でした。「いそばん」のカンパニーユにチーズをのせてあぶった「ハイジのパン」も好評でした。

皆さん大満足の様子でお帰りました。また開催をして欲しいとの声も多くありましたので、次回は「長良川おんぼく」で開催を予定していますので、今回参加できなかったみなさんでもぜひご検討ください。(観察と焚火を楽しむ参加者達)



# 収穫祭

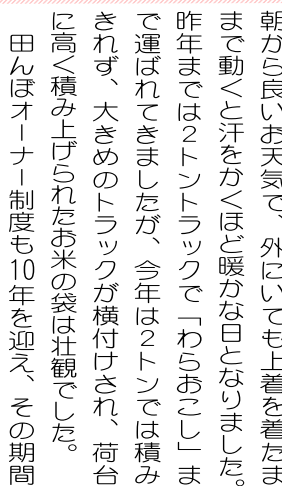


11月8日(日曜日)は、田んぼオーナー制度とファームトラスト制度の締めくくりとなる、収穫祭を開催し、会員の方々に和良の自慢のお米「奥美濃清流米」をお渡ししました。朝は「わらおこし」の外の特設舞台で事務局からのお知らせと(有)三岩出明喜会長から、今年の

お米の出来具合などをお話いただきました。今年も長雨の影響は少なからずありましたが、なんとか皆さんに品質の良いお米をお渡しできると話されました。

今年度はコロナ禍にあつて、参加数が少なくなるのではないかと、イベントを開催することは出来るのだろうか、いろいろな不安はありましたが、応募口数は昨年よりも多く、「田植え」や「稲刈り」イベントを開催することができました。ただ、残念なことに例年は各イベントの昼食時間には田舎料理体験教室を開催してありましたが、今年度は省略させていただきました。収穫祭のこの日も例年はおもちつきを皆さんに楽しんでいただけておりましたが、今年も中止とさせていただきます。

当日の天候は前日の強い雨もすっかりあがり、朝から良いお天気で、外にいても上着を着たまままで動く汗をかかほど暖かな日となりました。昨年までは2トントラックで「わらおこし」まで運ばれてきましたが、今年は2トンでは積みきれず、大きめのトラックが横付けされ、荷台に高く積み上げられたお米の袋は壮観でした。田んぼオーナー制度も10年を迎え、その期間には嬉しいことも悲しいことも多くを体験しました。これからも多くの方々に和良で沢山の体験と思い出を作っていただけたらと思います。



(会長挨拶) (準備万端!) (引き渡し) (笑顔の参加者)

# イベント掲示板

♪あわてんぼうのサンタクロース〜クリスマスまでに和良にやってきました〜

和良おこし協議会主催

## 鼻笛でサンタを呼ぼう

鼻笛の聖地とも呼ばれる和良で、焚火を囲みながら鼻笛でクリスマスソングを奏でませんか?鼻笛初心者の方も大歓迎!休憩時には焚火を囲みながら温かいスープで体を温めます。

2020年 12月19日  
受付開始時刻 15時  
参加費 2,500円

郡上市市民協働センター  
サブセンター相談会

とき:12月16日(水)10時~15時  
ところ:わらおこし(和良町下洞554)

相談員:上村英二センター長

# 和良町の人口

令和2年11月1日現在

